

◆開国期日本に大きな足跡を残した英国外交官アーネスト・サトウの日記等をデジタル化

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

英国公文書館所蔵資料デジタル・アーカイブ

アーネスト・サトウ文書集成

The Paper of Sir Ernest Mason Satow

(Source Library: The National Archives (Kew, United Kingdom) / Content:45,004 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です



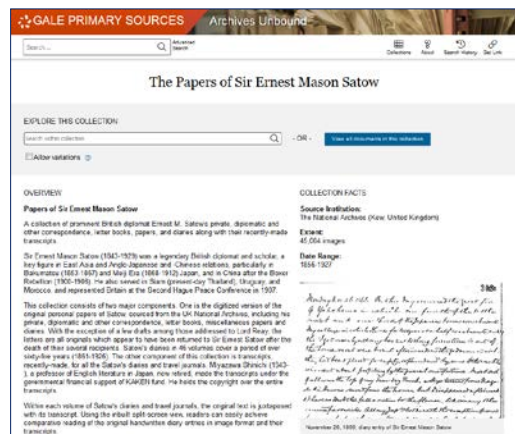
英国外交官として開国期日本に大きな足跡を残したと同時に、西洋人による日本学を築いた研究者としても著名なアーネスト・サトウ (Sir Ernest Mason Satow, 1843-1929) は、英日関係や英中関係、特に幕末から明治時代の日本や、義和団の乱以後の中国における東アジアの重要人物でありました。サトウはまた、シャム (現在のタイ)、ウルグアイやモロッコでも駐在大使を歴任し、1907年の第2回ハーグ平和会議では英国代表次席公使を務めております。

本資料は英国公文書館に所蔵されるアーネスト・サトウの日記、紀行文集、往復書簡など自筆文書をデジタル化し、研究目的に寄与するものです。すべてが手稿資料ですが、日記と紀行文集については、全7巻の書籍として刊行された翻刻版の電子版も搭載することで全文検索にも対応しております。

収録される日記・紀行文は、英国を出発した1861年11月4日から死の3年前の1926年まで65年間に及びます。また、本コレクションには日記・紀行文集の他に、書簡その他の文書も収録されています。これらの文書全体の収録期間は1856年から1927年までです。

従来のサトウ研究は、萩原延壽の大作『遠い崖—アーネスト・サトウ日記抄』を筆頭に、日本滞在記に焦点が当てられてきましたが、本コレクションは外交官としての全活動時期に加え、引退後の時期までカバーすることにより、サトウの生涯の全貌に迫るものです。

- ◆収録時期: 1856-1927年
- ◆収録ページ: 45,004ページ
- ◆原資料所蔵機関: 英国公文書館
- ◆翻刻者: 宮澤真一(北京語言大学客員研究員)
- ◆プラットフォーム: Archives Unbound
- ◆IPアドレス接続設定・同時アクセス無制限
- ◆ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整等のビューワ機能
- ◆印刷・PDFダウンロード可能
- ◆メール送信、書誌自動生成、ブックマーク機能
- ◆Google/Microsoftアカウントとのログイン


手稿に加えて翻刻も搭載してデジタル化! 詳細は弊社まで

日本総代理店 極東書店

FAR EASTERN BOOKSELLERS
 KYOKUTO SHOTEN LTD

 〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
 〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

 03(3265)7531 FAX (3556)3761
 075(353)2093 FAX (353)2096
 092(751)6956 FAX (741)0821

 URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

 E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp
